

垂直入射音響透過損失測定(依頼試験)のご案内

1. 測定概要および手続き

- (1) **測定方法**：アメリカ材料試験協会 (American Society for Testing and Materials)
ASTM E 2611-09 に準拠。
使用機器：ブリュエル・ケアー製
- (2) **測定周波数範囲**
 - ①太管のみ : 1/3 オクターブバンド 12バンド (100~1250Hz)
 - ②細管のみ : 1/3 オクターブバンド 10バンド (630~5000Hz)
 - ③太管・細管同時申し込み: 1/3 オクターブバンド 22バンド (100~5000Hz)
- (3) **測定の予約**：事前に電話で担当者と試験内容、手続き等についてご相談ください。
試験体の材質によっては測定ができない場合があります。申込の前に必ずご確認下さい。
 - ① 試験体の名称 ②数量 ③試験体の仕様(材質、厚さ) ④希望日 ⑤お客様の連絡先
 - ⑥その他測定に必要な事項
- (4) **資料の提出**：下記資料の提出をお願いします。
 - ①試験体の仕様：試験体の名称、製造者、構造、材料等が記入されており成績証明書に記載できるもの。
 - ②試験体の取付条件：背後空気層の有無・背後空気層の厚さを記入したもの。
- (5) **手数料**
 - ①1測定につき 22,880円(中小企業は11,440円)
太管・細管両方を同時に申し込む場合 1測定につき45,760円(中小企業は22,880円)
- (6) **支払い**
支払いは前払いです。カード、銀行振込、コンビニ振込のいずれかでお支払い下さい。
測定は、お客様からの入金確認後に行います。
- (7) **試験結果**
試験結果については、試験報告書を発行します。
窓口で受取ご希望の際は「試験申込書及び承諾書」の控えを持参してください。

2. 試験体の条件

- (1) **試験体サイズ**
 - ① 太管：直径100mmの円筒型、又は円盤型(硬い材料は0.5mm程度小さめに加工)
 - ② 細管：直径29mmの円筒型、又は円盤型(硬い材料は0.5mm程度小さめに加工)
- (2) **サイズについての注意**
規定サイズに成形した試料を事前に持参し、管への取付状態をお客様ご自身でご確認下さい。
試験体が管に入らない場合は、お客様の費用負担で作り直していただきます。
サイズ通りで管に入らない場合は、0.5mm程度小さめの切断を目安として下さい。
- (3) **試験体数**
太管及び細管それぞれ1個以上(測定結果は、個々の測定値の他に平均値も示します。
ただし試験体間で測定値のばらつきが大きい場合は、平均値は示しません。)
- (4) **試験体の返却**
試験終了後の試験体引き取り・廃棄は、当センターで行いません。
郵送での返却は着払いとなります。
- (5) **音の入射面**：ご依頼時に、表裏どちらを入射面にするか必ずご指示下さい。